

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	山梨県	事業実施主体	山梨県、市川三郷町、早川町、身延町、富士川町	地域再生計画名	甲斐の国峡南地域再生計画
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	山梨県 治山林道課長、道路整備課長、市川三郷町 土木整備課長、富士川町 土木整備課長		

	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	中間目標値の実施状況に関する評価		
		基準年度		年度	中間実績	基準年度					
①地域再生計画に記載した数値目標の達成状況	指標 1	交流人口の増加	2,169千人	H26	2,423千人	H29	2,219千人	2,573千人	H31	×	整備促進によりアクセスが改善したが、峡南部地域内の交流人口はその他の要因が大きく影響し、交流人口は基準年に対し増加しているものの、中間目標には達していない。
	指標 2	観光周遊ルートの総所要時間	88分	H26	85分	H29	84分	83分	H31	○	町道、林道の各事業の整備により、中間目標が達成された。
	指標 3	効率的な林業経営が可能となる人工林面積の増加	508ha	H26	618ha	H29	708ha	692ha	H31	○	計画路線の林道開設及び森林環境保全整備事業の林業専用道開設により、中間目標が達成された。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の発現状況	指標 1										
	指標 2										
③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）	2.24km	0.92km	2.24km	<ul style="list-style-type: none"> 市川三郷町道については、H29年度末時点で順調に事業が進捗しており、H30年度中の完成を目指す。供用開始に伴い、交通安全が確保され、地域間交流の向上が期待できる。 富士川町道については、一部用地が難航しているものの、整備済区間においてアクセスが改善しており、引続き事業を実施したい。 						
	林道整備事業（整備延長）	11.09km	4.39km	11.09km	国費の緊縮等により進捗が伸び悩んでいるが、森林環境保全整備事業でカバーし、効率的な林業経営が可能となる人工林面積の増加を図ることができた。今後は目標達成に向け予算獲得を図る。						
その他の事業	森林環境保全整備事業（林道）	面的にまとまって計画的に行う撤出間伐等の森林施業と、これと一体となった林業専用道の開設を行う			林業専用道の開設を積極的に進めており、林業経営の効率化に寄与している。さらなる林業振興を図るため、事業を継続して進めて行く。						
	観光地の魅力向上（市川三郷町）	友好町である静岡県西伊豆町との交流関係を築き、イベントにおける相互交流や西伊豆町の民宿を利用する町民に対する宿泊費の一部助成を行い、友好関係を深めるとともに情報交換、誘客の促進を図る。また、パンフレット、メディア等の広告媒体を活用した宣伝を促進し、観光のPRを推進していく			西伊豆町交流助成は、平成27年度に142人、平成28年度に146人、平成29年度に101人が利用している。今後も継続して行う。						
	公共事業の連携強化（市川三郷町）	過疎地域の交通手段の確保として、市町村自主運営バス（コミュニティバス）を運行することにより、利用者のニーズを把握し、交通弱者、通勤、通学のサポート及び高齢者等の外出サポートの柔軟な対応を図る。主に市街地や病院、JR駅への接続として路線経路を組んでいる。			市川三郷町コミュニティバスは、三珠線、山保線、六郷線、六郷循環線とあるが、平成27年度に17,354人、平成28年度に17,536人、平成29年度に14,339人が利用している。今後も継続して運行する。						
	定住の促進（市川三郷町）	人口増加対策、地域の活性化、管内小学校児童数の増加を目的として若者定住促進住宅補助金制度を創設。市川三郷町山王土地区画内に住宅を購入し、転入する夫婦いずれかが40歳以下の若者世帯を対象に補助金を配布。			現在では、市川三郷町内に定住を希望する若者の中で、夫婦いずれかが補助金交付申請時に満40歳以下の若者世帯を対象としており、平成27年度に10世帯、平成28年度に30世帯、平成29年度に40世帯が利用している。今後も継続して行う。						
計画外で独自に実施した事業	県単独林道事業（林道）	山岳観光のアクセス道として利用の高い林道や沿線住民の生活用道路である林道を改良し、山村地域の振興と定住環境の改善を図る。			計画対象路線の事業実施により、山村地域の振興に寄与し、あわせて地域住民の通行の安全も確保した。今後も継続して整備を進めていく。						
④評価方法	地域再生計画評価会議を立上げ、中間目標値の実現状況に関する評価に基づき、計画の総合評価・今後の方針等について検討を行った。										
⑤中間評価の公表方法	山梨県のホームページに掲載										
⑥計画全体の総合評価	<ul style="list-style-type: none"> 本地域再生計画では、町道、林道を一体的に整備することにより効率的な道路ネットワークを構築し、地域内交流人口の増加を図り、地域全体の活性化を目指す計画である。これまでの整備により、中間年時点の交流人口が基準年（H26年）に対して増加しているものの、中間目標には達していない。 中間年までの事業進捗において、町道・林道等の一部供用開始や県単独林道事業の実施により、観光周遊ルートの所要時間が短縮し、中間目標を達成することができた。 また、森林環境保全整備事業においても、当該交付金に併せて積極的に実施することにより、効率的な林業経営が可能となる人工林面積も増加し、中間目標値を達成することができた。 										
⑦今後の方針等	<ul style="list-style-type: none"> 町道整備については、用地交渉が難航している区間が残っているが、整備による効果も確認できており、今後は中部横断自動車道の全線供用開始に伴い当該路線の利用者の増加が見込まれることから最終目標達成にむけ引続き事業を推進する。 さらなる交流人口の増加を図るために、観光地間のアクセス改善のための町道整備、林道整備を一体的に進める。一方、森林環境保全整備事業等のその他事業についても、引続き実施することにより総合的に地域の魅力向上に努力する。 										

地域再生計画 中間評価参考資料

都道府県名	山梨県		地域再生計画の名称	甲斐の国峡南地域再生計画		
施行主体	山梨県、市川三郷町、早川町、身延町、富士川町		計画期間	平成27年度～平成31年度		
地域再生計画の概要	<p>峡南地域は山梨県の南部に位置し、南アルプス山岳地域、身延山、下部温泉などの観光地、ダイヤモンド富士などの景観に加えてお茶の生産が盛んであることから観光ニーズとしては高いものの、人口減、農業者の高齢化、後継者不足、さらには道整備の立ち遅れもあって、観光者の十分な増が図られていない。本計画では、町道及び林道を一体的に整備し、観光地のPRや公共交通機関の連携強化に取り組むことによって地域の道のネットワークを構築し、新たな観光ニーズを掘り起こして交流人口の増及び森林資源の有効活用を図る。</p>					
地域再生を図るために 行う事業	<p>増穂インターチェンジ付近の「町道大柗大久保線」等の整備を行うとともに、県民の森からの新たな周遊ルートを構築する「町道平林伊奈ヶ湖線」の改良・舗装事業を行う。また、市川三郷町文化資料館を周遊ルートに組み込むために、「町道矢作上野線」の整備を行う。 これにより、峡南エリア全体として町道・林道と既に整備済みあるいは今後整備予定である高速道路や県道等との連携が図られ、観光拠点間をつなぐアクセスルート網が構築される。 加えて、森林施業における効率化と生産コストを抑えることで、林業・木材産業の生産活動を向上させ、林業の振興を図っていく。また、住民の利便性向上や災害時の孤立への不安の払拭も図ることにより、全体的に地域に潤いがもたらされる。</p>					
主な計画道路の 整備状況写真	富士川町道 大柗大久保線 (着工前) (H29末時点)		林道 丸山線 (着工前) (H29末時点)		富士川町道 平林伊奈ヶ湖線 (着工前) (H29末時点)	
						
主な計画道路の 整備状況写真	市川三郷町道 矢作上野線 (着工前) (H29末時点)					
			/		/	